



議 会 だ よ り

松 崎

桜並木 旅立ちの日

言葉のつす ぬくもりの町

No.126
令和2年1月30日

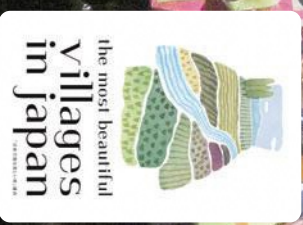
「松崎町のうたコンサート」



《主な内容》

第4回定例会（12月10日～12月11日）

- 一般会計補正予算 他……………2
- 町政を問う 一般質問に5議員……………5
- 議員研修報告（常任委員会視察・郡議員研修会）……………10



松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

令和元年12月定例会

令和元年第4回定例会が12月10日、11日の2日間で開催されました。

今回の定例会では、一般会計補正予算など7議案を審議し、1件を修正可決、ほかの6議案は原案のとおり可決・承認しました。

一般会計補正予算 修正可決

補正予算(第4号)は、

歳入歳出にそれぞれ1億6818万2千円を追加するものであったが、議員2名から旧依田邸温泉施設整備改修工事費500万円を削除する内容の修正案が提出され、採決の結果、賛成多数で修正可決した。

今回、削除した予算は、既に発注済みの同工事費を500万円増額するもので、内容はボイラーの修繕と改築工事であるため不測の事態を見込んでの予算とのことであった。しかしながら、一度目の入札では、予定価格と約1400万円の開きが

あり不調となった経過や、契約後、未着工での工事費追加が疑問であるとして修正となった。



工事が始まった旧依田邸

問 旧依田邸の工事費追加の関係だが、ボイラーや配管などは、それらを含めて実施設計が組み込まれているのか。
答 企画観光課長 当初

は、ボイラーは清掃程度で使えると考えていたが、詳細な点検を委託したところ、配管が老朽化している一部交換が必要となった。

問 臨時会で契約議案を可決してから、すぐに補正予算が上ってきた。最初から予定されていたのではないかと取れなくもこの補正は違和感を感じるが。
答 企画観光課長 分からない部分を初めから実施設計に含め、事業費を膨らませることはいいかなことかと思う。

今回は、改修工事であり施工段階での不確定要素があるので、それらに対応する予算である。

問 今回はリフォームなので不測の事態ということとは分るが、ここで500万円を認めれば、業者にとっては枠が確保され、あと500万円の仕事は

やってもいいよということになるのではないか。

答 企画観光課長 500万円措置したら全て使えるという考えではなく、変更要因はしっかり精査していく。そのために工事監理も委託している。

問 線越明許費の中に、ハザードマップ作成事業があるが、最近では河川氾濫で大きな被害も出ているが、どういうものを作るのか。
答 総務課長 那賀川、岩科川の浸水想定データを基に町全体のハザードマップを作成するものだが、来年3月に県が土砂災害警戒区域の新たな指定を行うので、それを含めたマップとするために線越事業とした。

今回は、改修工事であり施工段階での不確定要素があるので、それらに対応する予算である。

問 学校給食費の幼稚園給食副食費負担金149千円とは、どのような内容のものか。
答 教育委員会事務局長 給食費には主食費と副

食費があるが、10月から授業料無償化の関係で副食費に対する手当を町で負担することとなり計上したものの。

問 松崎港湾維持修繕事業500万円は旧港のことだと思うが、新港の浚渫計画はあるのか。
答 産業建設課長 今回の500万円は、旧港の浚渫事業の町負担分。新港については、過去に一度実施したが、今後については未定である。



12月定例会の様子

条例

◎松崎町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定

非正規労働者の待遇改善を含む政府の働き方改革を背景に、従来、地方公共団体により様々であった臨時・非常勤職員の任用、勤務条件等に関する取扱いを統一するため、地方公務員法及び地方自治法が改正され、会計年度任用職員制度が創設された。これに伴い一般職、非常勤職員の給与等に関する必要な事項を条例で定めるもので、令和2年4月1日から施行される。

雇用区分としてはフルタイム会計年度任用職員とパートタイム会計年度任用職員とがあり、フルタイム職員については一般職員と同時勤務するもので、町職員と同じ給料表が適用され、任用期間が6月以上の場合は期末手当も支給される。

パートタイム職員は短時間勤務者が対象となり、フルタイム職員の給料を基準月額とし、勤務時間、勤務日数により報酬として支給される。また、期末手当についても同様に支給される。

問 現在の臨時職員は何人か。また、フルタイムとパートタイムではどういう使い分けをしているのか。

答 総務課長 短時間勤務者も含めて40名弱を雇用している。

1日勤務していたり、なくても回っていく介護保険認定調査員や小中学校の特別支援員などは、パートタイム的な雇用となっている。

問 フルタイム職員は1級と2級があり、その区分については相当な知識、経験が基準となるが、その判断は町長がするののか。

答 総務課長 最終的には任命権者である町長のは

判断となるが、現状では2級に該当する職員はいないと考えている。

問 現在、フルタイムで働いている人が、新制度に移行したらパートタイムになることのないよう継続できるのか。

答 総務課長 法律の趣旨からすると、働いていながら不利にならないように対応するが、その部署にフルタイム職員が必要かということは精査しながら進めて行く。

問 財政上の負担として、どれ位、金額的な変化が見込まれるのか。

答 総務課長 予算編成中で正確な金額ではないが、共済費なども含めた人件費総額では10000万円以上の増額が予想される。

◎松崎町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

本年の人事院勧告では、

民間との格差是正のため国家公務員の給料・ボーナスとも引き上げの勧告がなされ、関係する法律が改正されたことから、町条例においても同様の改正を行うもの。

主な改正点は次のとおりであるが、今回の改正で6年連続の引上げとなった。

○給与表の改定

4月に遡及し、初任給及び若年層の俸給月額を最高20000円の引上げ(平均0・1%)

○勤勉手当の引上げ

12月支給分の支給率を0・05月引上げ(0・925↓0・975月)

この他、次の条例も原案のとおり改正された。

◎松崎町表彰条例の一部を改正する条例

◎松崎町印鑑条例の一部を改正する条例

人事

◎教育長の任命

教育長の佐藤みつほ氏(桜田)が12月17日をもって任期満了となることから、再任することについて同意した。

任期は令和元年12月18日から3年間。



佐藤教育長 (再任)

◎人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員の齋藤公志郎氏(道部)が3月31日をもって任期満了となるが、委員として適任であるため、再度、法務大臣に推薦することについて同意した。

任期は、引き続き任命された場合、令和2年4月1日から3年間。

「岩科診療所」の指定管理者
地域医療振興協会（東京都）に決定

【第5回臨時会】(11/22)

岩科診療所の設置及び管理等に関する条例の制定など3議案が上程された。

◎岩科診療所の設置及び管理等に関する条例の制定

問 条例制定前に指定管理者の公募が行われた。

イレギュラーな手続きとの意見があるが、こういう順序になった理由は。

答 統括課長 条例を先に作るのが一般的だが、顧問弁護士に相談し、時間が無いという事情の中で、並行して行うことは必ずしも違法ではないと指導を受けている。

問 施行日が公布の日からとなっている。公布した時点で診療所があることになるが、瑕疵ある条例ではないか。

答 統括課長 この条例は岩科に診療所を設置する

るといふ町の姿勢を示したものの。附則に経過措置を付けることで議会の承認をいただきたい。

◎公の施設の指定管理者の指定（岩科診療所）

地域医療振興協会を指定管理者として指定するものであったが、根拠となる設置管理条例が未公布で、条例の効力が発生していない中での審議は出来ないことから、町長申出により議案撤回となった。

◎旧依田邸温泉施設整備

改修工事請負契約の締結

問 今回の契約で、予定していた工事は全て終了か。追加はないのか。

答 企画観光課長 設計通りに行けば変更はないが、この工事は改修なので、施工の段階で何か出てきたら補正予算等で対応していく。

問 1度目の入札は、金額にかなりの差があったが、設計内容をどう変化させたのか。また、今回の契約で町の想定する満足なものはあるのか。

答 企画観光課長 増築部分の面積を減らしたり浴室の材料変更などを行ったが、開業するための設備は十分機能している。

【第6回臨時会】(11/28)

第5回臨時会で撤回となった公の施設の指定管理者の指定に関する議案が、再度上程された。

問 振興協会への町からの赤字補てんは、5年で7318万円が上限か。

答 町長 そのように私は考えている。

問 施設整備の財源として過疎債を予定しているが、認定されなかった場合は。

答 統括課長 地域医療という重要なことなので、感觸としてはほぼ希望どおりと見込んでいます。

第5回・6回臨時会及び第4回定例会 賛否状況一覧

件名	議員							議決状況	
	田中道源	鈴木茂孝	小林克己	深澤守	渡辺文彦	高柳孝博	土屋清武		
第5回臨時会	松崎町岩科診療所の設置及び管理等に関する条例の制定について	○	○	○	×	○	○	×	原案可決
	公の施設の指定管理者の指定について（松崎町岩科診療所）	議案撤回							
第6回臨時会	令和元年度旧依田邸温泉施設整備改修工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	公の施設の指定管理者の指定について（松崎町岩科診療所）	○	○	○	×	○	○	×	原案可決
第4回定例会	松崎町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	松崎町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	松崎町表彰条例の一部を改正する条例について	○	×	○	○	×	○	○	原案可決
	松崎町印鑑条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	令和元年度松崎町一般会計補正予算（第4号）について【修正案】	○	○	×	○	×	×	○	修正可決
	令和元年度松崎町一般会計補正予算（第4号）について【修正部分を除く原案】	○	○	×	○	×	○	○	
	教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	同意
人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	適任答申	

○：賛成 ×：反対

町政を問う



プログラミング教育の取り組みは（松崎小学校）



高柳孝博議員

問 地方創生の成果は

答 更なる重点施策で

問 地方創生の施策が結果に結びついているか。

答 (町長) 国は新たな視点を踏まえて施策の検討を行うことが重要であると示し、その中でソサエティー5.0の実現に向けた技術の活用が明記されている。

答 (町長) 必ずしも現状の対策が十分機能していると言えないが、人口減少抑制対策として移住定住対策、子育て支援、町内で仕事ができる環境づくりなども行っており、転入から転出を差し引いた社会減の幅は年々小さくなっている。

定住人口増の対策は長期にわたり継続し、一方で交流人口を増やし町の活性化につなげたい。

問 ソサエティー5.0は

答 具体的な計画を見て

問 国が提唱するサイバー空間（仮想空間）とデジタル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する新たな未来社会（ソサエティー5.0）を町も検討する考えはあるか。

問 道の駅の営業対策は

答 魅力的な商品開発で

問 儲かる仕組み作りが必要である。6次産業化の目指す質と量をどうするか。

答 (町長)

他にはない魅力的な商品を作り出し、販売することが重要であり、異業種と連携した6次産業化による商品開発を進めることにより品質や販売量の確保に努める。

問 プログラミング教育は

答 環境整備をする

問 現在の取り組みと今後の目標は。

答 (教育長)

2020年度から小学校で必修化され、新しいパソコンのリースや教科書など環境整備をする。

小学校では①プログラミングの思考、②問題解決やよりよい社会づくりなどを築いたりする態度、③各教科などで指導する場合は学びをより確実にすることを狙いとしており、町としてはプログラミング教室を地域おこし協力隊などで、科学技術的なことは高校の教員などを使って機会提供をしている。また、パソコンに意図した処理を行うよう指示する体験をさせながら育成していく。

問 森林環境譲与税の用途は

答 森林経営管理事業の実施



小林 克己 議員

問 この税の用途は。
答 (町長)

今年度は、長期的かつ計画的に森林経営管理事業を実施するため、森林の現況調査、所有者の確認を行い、今後の意向調査の実施に向けた全体計画を作成する予定である。

問 森林整備を目的として鳥獣対策の実施は。
答 (町長)

この税を活用できると考えるが、メッシュ柵な

答 (町長) 鳥獣対策は1市5町の首長会議で共通の課題とし、私も述べている。

問 奨学金返済支援を

答 導入の是非を検討

問 議員視察した小海町では奨学金返済支援補助金の制度がある。
答 卒業後、小海町へ定住し医療関係の看護師、保健師、介護福祉士として就職した場合、返済金額の75%の補助金が交付される。このような制度の導入の考えはあるか。

答 (町長)

当町では、大学などの修学に必要な費用の一部を貸与する奨学金貸付制度を町独自で行っている。

小海町の制度は、ＩターンやＵターンなど定住された方が対象で、借りた奨学金の返済金額に対し補助金を交付することに より、人口の流出を防ぎ、定住促進を図って町を担

う人材の確保に寄与することを目的に行われていると聞いている。この制度を参考にすべき点は多々あると思う。

しかしながら、補助金の財源の問題など精査すべき点を踏まえたうえで、今後、内部で導入の是非を検討していきたい。

問 避難所での環境は把握しているか。
答 (町長)

今回、初めて避難所と

して開設した施設があったが、トイレの使用ができなかったり雨漏りがある、床が固いなどといったハード面での問題点や、受付時の対応とか避難所対応の職員態勢などのソフト面での問題点も浮き彫りとなった。

避難された皆様から伺った反省事項を次へ活かすべく、現在、その対策について検討している。



救護所運営訓練 (松崎高等学校)



幼稚園での延長保育は（松崎幼稚園）



田中道源 議員

問 花畑にレンゲの理由は

答 松崎町にマッチしている

問 交流人口の視点では、アフリカキンセンカの方が他所に真似されにくく、独自性を出しやすいと思うが、なぜレンゲなのか。

答（町長）

ミツバチの蜜源、土壌改良にレンゲは優れており、農村風景が残る松崎には、日本の花であるレンゲは大変マッチする。

問 レンゲの開花期間は短い。これは実行委員会

で実証し、提言もしている。また、播いた時期も稲刈りのあと、だいぶ経ってから播いたと思うが、きれいに咲くのか。

答（企画観光課長）

レンゲの開花時期は4月から5月、桜の時期から5月連休までと見込んでいる。

農業者に相談して稲刈り後に播いたが、どういう咲き方をするか検証し、来年は播く時期を、稲刈り前、稲刈り後と場所を分けてみるなどの方法も考えて行きたい。

問 河津町の桜まつりと連携は。

答（町長）

昨年に引き続き河津町に協力を依頼し、まつり会場でPR活動していく。

問 花畑周辺の未舗装部

答（町長）

賀茂農林事務所の事業であり、来年度実施に向け予算要求と聞いている。

問 花畑周辺の空き地で、

地元の方々による駐車場経営導入の考えはあるか。

答（町長）

民間の方が駐車場経営を行うことについては、独自の判断に委ねたい。

問 待機児童解消について

答 柔軟な対応をしていく

問 幼稚園の延長保育を行う計画はあるか。

答（町長）

可否を検討中だが実現には至っていない。

問 西伊豆町へ幼児保育の受入を依頼する考えは。

答（町長）

事前に西伊豆町の承諾が得られれば、保育園児の保育を委託することは可能である。

問 家庭的保育の計画はあるか。

答（町長）

家庭的保育は、町の認定により認可保育所の位置付けとなるが、今のところ事業主からの希望も無いため計画はない。

問 鳥獣被害について

答 他市町と検討中

問 食肉加工して販売するなどの計画はあるか。

答（町長）

加工処理施設は莫大な費用がかかり、負担が大き過ぎる。単独では難しいので、広域で検討していく必要があるが、課題も多い。

問 避難所の設置と運営は

答 自主防との連携強化を



鈴木 茂孝 議員

問 台風19号で町の避難所が三浦地区に開設されなかったがなぜか。

答 (町長)

河川の氾濫の恐れがあり町内の3か所に開設したが、そこに三浦地区の人も避難できるように早めに避難所を開設した。

問 中川地区では旧中川園に避難したが那賀川の水位が上昇したため、旧中川小の2階に移動した。避難所の設置について見

問 避難所の運営について、自主防との連携をどのように考えているか。

答 (町長)

今回のように数か所の避難所を開設するのは、町職員だけでは限界があることを痛感した。今後は自主防と連携した体制を構築していきたい。

問 温泉施設の利用者は

答 年間3万4千人

問 工事の入札が成立せず再設計した後、再落札された。予定していた改修とは違うことに対してどのように考えているか。

答 (町長)

再設計において材料の変更などを行ったが、基本的な部分が変わっていない。利用者には快適に使っていただけと思う。

問 道の駅の直売所の利用者数の見直しをしたが、旧依田邸温泉施設でも見直しを考えているか。

答 (企画観光課長)

現在進めており、利用者数は過去の実績より年間利用者数3万4千人と想定している。

問 かじかの湯の直近3

年の利用者数は、年間平均2万4千人。旧依田邸温泉施設へは道が狭く、入浴料金も倍の千円であり、想定の数値は楽観視しすぎているのでは。

答 (企画観光課長)

旧依田邸を宣伝し3万4千人を目標にしていく。

問 町内の利用者が多く

見込まれることから料金をまっさき荘と同額にし、共通回数券を作っては。

答 (企画観光課長)

いい案で検討してみた。

問 石部棚田の今後は

答 協議会を作り運営

問 国の指定棚田地域になるために、年度内に協議会を作る必要があるが。

答 (町長)

地元関係者、産業関係者、オーナー、大学、県等を構成員に考えている。



指定棚田に向けた勉強会 (石部公民館)



今後の台風への対応は（増水後の那賀川河口）



渡辺 文彦 議員

問 台風19号からの教訓は

答 町対応の限界を感じた

問 台風19号の接近に伴い全町避難指示が発令された。この台風により得た町の教訓は。

答（町長）

町の防災計画に従い、今回の台風では避難所を開設したが、町職員だけでは避難所運営には無理があることを痛感した。今後は、自主防及び町民の方々の協力も得て町との連携を図りたい。

問 要支援者の避難には、自主防ではなく町が積極的に関わる体制が望ましいのでは。

答（健康福祉課長）

要支援者は体調が変化し易いこともあるので、町の関わりが必要であると考えている。

問 弔意金条例の見直しを

答 他市町の動向を見て

問 9月議会にて「松崎町災害弔意金の支給等に関する条例」が改正され

たが改めて見直す考えはないか。

答（町長）

国の法律などの改正に伴い災害援護資金の貸付に際し、貸付利率3%で据え置き、連帯保証人必置義務としたことに対し、利率の引き下げ、連帯保証人なし等の意見があった。町としては他市町の動向を参考に検討していきたい。

問 地方創生に町民の声を

答 多様な考え取り入れる

問 第1期を引き継ぎ第2期総合戦略が策定される。地方創生には、まちづくりに関わる人材の育成が必要と考えるがいかなものか。

答（町長）

まちづくりは人づくりとも言われる。住民一人一人が主体的に行動し、行政と協働で取り組む必要があると思う。新たに、まちづくりに

活動される団体等も含め支援補助制度を創った。

問 総合戦略の策定にあたり、町民の声を伺うとしている。以前、子供たちの町に対する要望などを発表する場があった。またその様な場を設けてもらいたい。

答（町長）

その様な取り組みは結構なことと思う。多様な意見にヒントになることが必ずあると思うので、やっていきたい。

問 「関係人口」という考えが総合戦略に示されている。町はどの様に関わることか。

答（町長）

町では従来より、棚田オーナー制度や大学との連携で地域活動に参加して頂いて関係人口の創出に取り組んできた。これからも継続して取り組むたい。

常任委員会視察研修

総務常任委員会では、10月8日から3日間、今後のまちづくりの参考とするため長野県小海町・栃木県足利市・群馬県川場村を視察しましたので、その概要を報告します。

宅地分譲で移住定住を促進 (長野県小海町)

小海町は、人口5千人程度で長野県佐久地方に位置しています。町の基幹産業は高原野菜の栽培で、高齢化率が50年後の日本の想定高齢化率に最も近い値なため「50年後の日本に一番近い町」といわれています。今回は、小海町の移住定住政策について研修しました。

小海町では定住促進のため、大きくは3つの事業を行っています。1つ目は宅地分譲です。国道に面した農地を取得し、住宅分譲地を整備・販売していますが、本事業と並行して子育て世代を対象に住宅の新築や改修への補助も実施しています。



分譲地を視察（本間大田団地）

新築取得の場合は100万円、増築や中古住宅の取得でも50万円の助成が受けられ、整備した分譲地は19区画中16区画で契約が成立しました。好評につき、令和元年度も新たに3区画の造成を計画しています。

2つ目は家を建てる選択が難しい遠方出身者には、インターンシップ・移住体験ツアーを行っています。インターンシップは宿泊費等を町が負担し担当者が要望に合わせ

てメニューを作りますが、希望者は時期や日程内容を自由に設定することができます。また、移住体験ツアーは近隣の町と同で行うことで、より多くの参加者を受け入れることができ、昨年は定員オーバーになりました。3つ目はインターン、Uターン促進のため、卒業後、町に定住する若者に対して奨学金の補助制度を実施しています。特に、地域福祉を強化するため、医療・福祉に従事する方はより手厚い補助を実施しています。

移住人口を増やすには、住環境や職場などハード、ソフト両方から多面的に整備することが大切であると感じました。

住民との協働でまちづくり (栃木県足利市)

足利市は、人口は14万人程で栃木県南西部、群馬県との県境に位置しています。古くは「織物の町」として栄えましたが、近年では商業都市として発展しています。このたびは足利市が実施する『市民力』創出共同事業について視察しました。

『市民力』創出共同事業は、市の抱える課題（商業都市のため、お店を出店したい人がいても空き店舗の調整ができない、何もない河川敷を活用したい等）を市民に提示し、アイデアと行動力を募り、市と市民団体との協働事業を実施する制度です。

活動の主体は市民団体で、行政の役割は、国・県などの関係団体との調整やホームページを活用した広報活動などを行い、民間が動きやすいようにサポートしていきます。



旧足利学校周辺の石畳通りを視察

実施期間は最長で2年ですが、1年目に事業の評価検証を行い継続の可否を判断します。これまでに足利学校周辺の石畳通りに屋台を出店したり、河川敷でジャズコンサートを行うなど多彩な事業が展開されてきました。職員の少ない松崎町では、イベントなどの実施には住民の協力は不可欠です。住民と行政の役割を考えるうえでも意味のある研修でした。

人気道の駅の秘密を探る (群馬県川場村)

人口3500人の群馬県川場村にある道の駅「川場田園プラザ」は、観光庁長官表彰など数多くの賞を受賞する人気の道の駅です。5ヘクタールの敷地にはビクターセンターや直売所などが整備され、農作物の販売だけでなく、ビールやヨーグルトなどの地元の産品を活用した加工品の販売も行っています。

川場村のむらづくりは、昭和46年に過疎指定を受けたことをきっかけに、「農業＋観光」から始まりました。急激な人口減少から村を立て直すため、誘客対策としてSL列車ホテルやスポーツ広場、スキー場などの拠点整備を行いました。また、東京都世田谷区が公募した「区民健康村づくり計画」に川場村が選ばれたことで都市との交流事業もスタートしました。本事業



田園プラザ直売所を視察

では、区民健康村として2つの交流拠点施設が整備され、小学生の移動教室などで多くの区民が来村し交流が続けられてきました。また、村民や世田谷区民から、公園や物づくり拠点の整備について要望を受け、これまでの村づくり事業の集大成として田園プラザ事業に取り組んでいます。田園プラザは、村も出資する民間が運営しており、若者100

名程度の就労を確保し、村のUターン、Iターンの場にもなっています。結果、川場村の過疎指定は平成12年に解除されました。

川場田園プラザは、大きな成功を納めた道の駅となりましたが、現在でも利益を伸ばすための努力は怠らず、特に来訪者の7割を占めるリピーターを満足させるため、常に新規事業を模索しています。最近では、富裕層をターゲットに高価で高品質な商品を販売するプレミアムショップも開設しました。

後継者の育成も人口の回復も、利益の出る産業が地域に育ったからで、民間の力、地元の力をどう結集するのか、大変、興味深いものでした。特に「儲ければ人は集まる」という言葉は印象的で、これから直売所建設を計画する松崎町の将来を考えるとうえで、非常に有意義な視察でした。

災害時の議会・議員の役割

賀茂郡町議会議員研修会

10月18日、賀茂郡町議会議長会主催による賀茂郡町議会議員研修会が南伊豆町で開催されました。

当日は、賀茂郡内の町議会議員、事務局職員60名が集い、講師に一般社団法人危機管理教育研究所主席研究員の鍵屋一（かぎや はじめ）氏を招いて研修が行われました。鍵屋氏は、東京都板橋区で防災課長、議会事務局長等を歴任し「東京都板橋区議会災害対策会議設置要綱」の制定等に尽力しました。現在は、一般社団法人危機管理教育研究所にて地域防災計画などの研究を行っています。当日は、「災害時の議会・議員の役割」と題し講演が行われました。

災害時における行政の業務は莫大で緊急性が高いため、負担となる議会などは実施せず、議員は



研修会場の様子

行政のサポートに徹し、住民からの情報収集や国・県との調整に努め、行政に負担を強いることは控えるべきとのことでした。今回の研修で、災害時の議員のあるべき姿がわかりました。また、自分たちが死傷者となり、行政に迷惑をかけるためにも、日頃の備えが重要であると改めて認識しました。

次の定例会は、3月4日(水)からの予定です。

議会のうごき

10月

- 4日 広報編集委員会
- 8～10日 総務常任委員会視察研修
(長野県・栃木県・群馬県)
- 11日 賀茂郡町議会議長会議 (南伊豆町)
- 16日 静岡県町村議会議長会定期総会 (静岡市)
- 17日 広報編集委員会
- 18日 賀茂郡町議会議員研修会 (南伊豆町)
- 21日 議会全員協議会
- 24日 議会だより125号発行
- 28～30日 静岡県町村議会議長会県外視察
(山形県)

11月

- 5日 議員会勉強会
- 13～14日 町村議会議長全国大会及び
賀茂郡議長会県外視察研修 (東京都)
- 20日 議会全員協議会
- 21日 伊豆縦貫自動車道天城峠道路・アクセス
道路要望活動 (東京都)
- 22日 第5回臨時会
- 28日 第6回臨時会

12月

- 4日 議会運営委員会・広報編集委員会
- 10～11日 第4回定例会
- 17日 西豆衛生プラント組合議会定例会
- 19日 伊豆縦貫自動車道西伊豆アクセス道路要望活動
(静岡県庁)

表紙の写真「松崎町のうたコンサート」は、文化協会写真部より提供。

発行責任者

議長

藤井 要

編集委員長

渡辺 文彦

編集委員

田中 道源

鈴木 茂孝

小林 克己

深澤 守

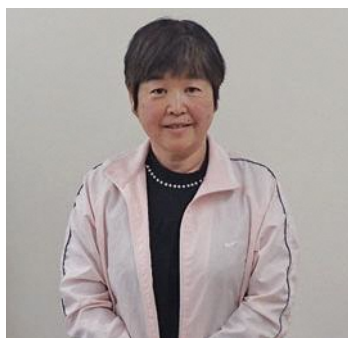
高柳 孝博

土屋 清武

この人に 聞きました⑳

松崎幼稚園園長

土屋恵美子さん



町内で活動している皆さんを紹介するコーナーです。今回は、松崎幼稚園の園長先生に最近の幼稚園についてお話を伺いました。

幼稚園での教育は何を意識していますか？
幼稚園では、「遊びは学び」と捉え、お友達や地域との交流から「表現力」を身につけて欲しいと思っています。また、

松崎の自然や季節を感じることで「松崎の子」らしい心を育んでいます。

教育無償化で保護者への影響を感じますか？

経済的負担は軽くなったと思います。しかし、今後の教育費を考えると働くお母さんは増えているようです。幼稚園でも、要望に応え、時間の延長や夏休みの預かり保育などを検討しています。

松崎で子育てするに当たり足りないと感じるところはありますか？

松崎は自然が豊かです。施設面も、プールに図書館、児童館があって、子育てするにあたり便利な施設がそろっています。あとは、お母さん達の悩み相談や、情報共有ができる子育て支援センター的な施設があったら更に良いと思います。

(聞き手 編集委員長)

海鳴り

松崎町議会の1年間を振り返ると、岩科診療所と道の駅直売所整備に向けた議論で町内外に注目された年でした。

行政と議会の対立から、3月には5人の議員から町長不信任案が提出され可決、そして町長は議会を解散。4月の町議会議員選挙を経て町長支援の議員が多く当選し、安定した議会運営が行われると思いきや、3回もの臨時会開催や議案の撤回、また、たびたびの審議中断や予算修正など、これまでと変わらない現状が続いている。

町行政を混乱させている原因を議会だけに押しつけるのではなく、色分けされた議員との反目、議会を軽視した対応など、当局も考えるべきである。以前の議会と何も変わらないというが、議員の半数は改選した。変わらなかったのはあなたかもしれません。

(議長)